

第23回警察署協議会代表者会議

1 開催日

令和7年1月22日（水曜日）

2 開催場所

千葉県警察本部

3 出席者

- | | | |
|--------------|----------------------------------|-----|
| (1) 警察署協議会 | 会長（代理出席者を含む） | 38人 |
| (2) 千葉県公安委員会 | 公安委員会委員 | 5人 |
| (3) 警察本部 | 本部長、各部長、千葉市警察部長
広報県民課長、交通総務課長 | 10人 |

4 挨拶

(1) 公安委員会委員長

警察署協議会は、署長が住民の代表である委員の皆様、署の業務運営について説明をし、理解と協力を求める場であるとともに、業務運営に民意を反映させるため御意見をお聞きする場でもあり、極めて重要な役割を担っています。

公安委員会として警察署協議会の活性化が必要であると考え、いくつかの警察署で試行を行ってもらっているところであり、そうした状況や今後の在り方について積極的な御意見を伺えることを期待しています。

各警察署協議会代表の皆様には、本会議で取り上げられた事例を各協議会に持ち帰っていただき、各委員の共通認識として広めていただき、今後の警察署協議会の運営にお役立ていただきたいと思います。

(2) 警察本部長

平素から警察署協議会での活動を通じ、警察署の活動の各般にわたり、格別の御理解、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

県警では、「安全・安心を実感できるくらしの実現」を令和7年千葉県警察の重点目標に掲げ、組織一丸となって職務にまい進していくとともに、自治体、関係機関・団体、地域住民の皆様と連携、協働しながら、各種治安対策を協力に取り組んでいきたいと考えております。

本日は、本部として、住民の代表である皆様の考えを伺う貴重な機会ですので、忌

憚のない御意見・御要望を賜りますようお願いいたします。

5 取組事例発表及び代表質問

(1) 警察官募集に係る広報啓発について

ア 取組事例発表及び代表質問（香取警察署協議会）

- ・ 高校生や大学生になると、ある程度自分の進路が決まってしまうので、小学生のうちから警察の職業体験会等を開いて魅力をアピールしてはどうかと協議会から意見具申した。
- ・ 香取警察署では、小学校の施設見学では、内容を更新し、乗車体験や施設見学を行うほか、「指紋採取体験」「逮捕術訓練」「似顔絵作成（福笑い形式）」を取り入れた。また、市内公共複合施設において「警察のお仕事」体験イベントを開催し、「犯人を捜せ（聞き込みの実施と似顔絵から犯人を確保）」「装備品着脱体験」も更に加え、魅力あるPRを行っていただいた。
- ・ 県警における採用の現状と今後の対策についてお聞きしたい。

イ 回答要旨（警務部長）

(ア) 採用試験実施状況について

令和3年度から令和5年度までは応募者数、受験者数は横這いだったものの、競争倍率は下降の一途をたどり、令和6年度は年間競争倍率が過去最低となる2.6倍となりました。

(イ) 今後の対策について

採用試験について見直しを図っているほか、採用募集活動の更なる活性化に向け、

- ・ 未来の警察官への働き掛け
- ・ 幅広い世代への働き掛け
- ・ 体験型イベントの開催
- ・ 辞退防止活動
- ・ SNS戦略

等を推進していきます。

(ウ) 総括

今後、益々採用情勢は厳しくなっていくものと思われまます。

引き続き未来の警察官となる小・中学校に対する警察官の魅力発信をはじめ、幅広い世代へ創意工夫した各種募集・広報活動を展開し、千葉県の「安全安心を実感できるくらしの実現」を担っていく人材の確保に努めてまいります。

(2) 電話 d e 詐欺被害防止対策について

ア 取組事例発表及び代表質問（千葉中央警察署協議会）

- ・ 電話 d e 詐欺の被害防止対策として実際の犯人の音声を多くの人に聞いてもらうことにより詐欺の電話がどのようなものか知ることによって被害を防げるのではと意見具申した。
- ・ 千葉中央警察署では、署が配信している安全・安心メールにより県警ホームページに掲載されている犯人の声に直接つながる URL を記載したメールを配信していただいた。
- ・ 県警の電話 d e 詐欺被害の現状と県警における今後の対策についてお聞きしたい。

イ 回答（生安部長）

(ア) 令和 6 年中の被害状況について

被害件数は前年と比較して、被害件数は 3 割近く減少したものの、被害額は約 1.4 倍に増加しました。

その理由としてインターネットバンキング利用の被害が増えたことや、国際電話番号による詐欺電話が急増していることが挙げられます。

(イ) 今後の対策について

固定電話機対策等の推進として、

- ・ 国際電話の着信ブロック申請
- ・ 防犯効果の高い警告・通話録音機器の普及に向けた取組
- ・ ナンバーディスプレイ機能の活用に向けた取組

を推進するとともに、水際対策の強化として

- ・ アシストポリス制度の活用
- ・ 金融機関との連携

を図っていきます。

(ウ) 総括

詐欺被害を巡る情勢につきましては、今回お話しした電話 d e 詐欺だけでなく、SNS 型投資・ロマンス詐欺が全国的に急増するなど、依然として予断を許さない状況が続いております。

関係機関・団体の皆様と連携して各種対策に取り組んでまいります。

(3) 交通事故防止対策について

ア 取組事例発表及び代表質問（銚子警察署協議会）

- ・ 運送業者などのプロドライバーが安全運転をさらに心がければ、周りのドライバーも安全意識が高まると思うので安全講話を実施しては。と意見具申した。
- ・ 銚子署では職業運転手を有する事業者に対して、交通安全講話を行うとともに、運転手に対し、運転訓練を指導していただいた。
- ・ 民間への交通安全教育をはじめ、各種の交通事故防止対策を強力に推進していく必要があると感じるが、県内における交通事故の現状と県警による今後の対策についてをお聞きしたい。

イ 回答（交通総務課長）

（ア）令和6年中の交通事故発生状況

令和6年中の交通事故発生状況は令和5年と比較して、発生件数、負傷者数は減少しましたが、死者数は131人で4人増加し、全国ワースト3位となり、年間の死者数は3年連続で増加しました。

（イ）交通事故の特徴

交通事故の特徴としましては飲酒運転による交通事故が132件発生し、前年と比べて16件増加しました。このほか、歩行者や高齢者、自転車が関係する事故は減少しております。

（ウ）今後の対策について

4つの柱を掲げ重点的に対策を推進していきます。

- 1 飲酒運転の根絶に向けた取組の推進
- 2 歩行者保護「ゼブラ・ストップ」等の徹底
- 3 運転に集中させるための交通環境の醸成
- 4 自転車その他の小型モビリティ対策の強化

（エ）総括

県警では県民の皆様を交通事故から守り、交通の安全と円滑を確保するための各種交通事故防止対策に今後とも積極的に取り組んでまいります。

6 質疑・応答

なし

7 意見交換会（グループ別検討会）

【議題】

警察署協議会の運営について

協議会委員から多くの発言を得るためにどのように運営するべきか

8 音楽隊の活動紹介

9 総括

(1) 警察本部長

意見交換会の状況を拝聴しましたが、各協議会会長の御意見・御要望は警察署の運営に参考になると感じました。引き続き忌憚のない御意見をお願い致します。

(2) 公安委員長

当委員会の今年の活動重点の1つとして「警察署協議会の活性化」を掲げております。より活発な協議や提案をしていければと考えております。

本日は、こうして協議会会長の皆様とお話し合いができる機会を得ることができ、ありがとうございました。限られた時間ではありましたが、皆様から多くの有意義な御意見をいただくことができました。皆様には本日の議事内容について他の委員の方々にお伝えいただき、今後の会の運営に参考にしていただけたらありがたいと思います。